

学校だより



令和3年9月30日
横浜市立二谷小学校
校長 矢島 孝幸

夢の実現に向けて

学校長 矢島 孝幸

分散登校がスタートして1ヶ月が経とうとしています。振り返るとあっという間でしたが、この1ヶ月は、学校にとって大きな変革期でした。それは、何とんでも「オンライン授業」を試行し、進めたことです。GIGAスクール構想の推進に向け、オンライン授業への取組については、おぼろげながら頭には思い描いていました。まさか、こんなに早く実現を迎えるとは、想像していませんでした。オンライン授業を進めるにあたって、授業者が安心して授業をできることが大切です。夏休みの延長期間に情報担当の職員が、自分たちのスキルを駆使して教室と職員室をつないで試行してみました。その後、誰もがオンライン授業ができるように全職員で研修しました。職員間でも得意不得意はありますが、子どもたちにより良い授業となるよう確認し合いながら9月を迎えました。次は、子どもたちがスムーズに家庭からログインできるかが心配でした。基本的な操作は、各学級で指導しましたが、学年の発達段階で理解度は全く違います。実現に向けては、大きな不安と課題が山積みでした。端末を通して学校と家庭が繋がる初日・2日目はとても心配でしたが、予想に反して、スムーズにオンラインで繋がることができました。もちろん、問い合わせはありましたが、無事にスタートを切ることができてホッとしました。この時、改めて二谷小の家庭の力の大きさを実感しました。その後は対面授業とオンライン授業を組み合わせ、ほぼ通常通りに授業を進められました。実践してみて課題も表出しましたが、工夫改善しながら、次に繋げていきたいと思います。今回のオンライン授業の進め方は、GIGAスクール構想推進に向けた取組の一環として、大きなチャレンジでした。私たちが思い描いていたオンライン授業をほぼ思い通りに進めることができたのは、ご家庭のご支援のおかげです。この「家庭力」は二谷小の大きな強みです。今後ご支援をよろしくお願いいたします。また、厚く御礼申し上げます。



男子マラソンの大迫 傑選手が小中学生向けに行っている『Sugar Elite Kids』というイベントに我が子が参加しました。このような状況下なのでオンラインによる開催でした。我が子は陸上を行っているわけではありませんが、大迫選手が語ってくれた『夢』に関する話に大きな感銘を受けていました。「夢を実現するために最も大切なことは、階段を一段一段のぼるように、小さな目標をもって行動すること」「夢を実現することが大きな目標であるが、夢の実現に向けて行動し続けることが大切で、それによって人として成長させてくれる力が身に付いていく」と語っていました。大迫選手は、東京オリンピックでのメダル獲得という夢に向けて行動したことで、コミュニケーション力や語学力等、様々な力が身に付いたそうです。最後は、夢の実現に向けて「今日できること」を問いかけ、「今日、必ず実践しよう」と結んでいました。私は、子どもたちが希望をもって未来へ羽ばたけるよう、夢や目標の実現に向けた実践力・行動力を育む支援を大切にしながら、改めて感じました。